

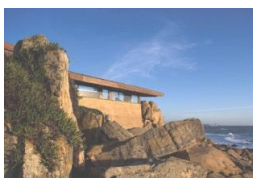
2011年度UIA各賞受賞者

UIA各賞は、3年に一度UIA世界建築会議の大会にて授与されます。名誉あるUIA各賞は、1961年に専門家たちの才能や活動をたたえるために創設されました。初期のUIA会長を記念してそれぞれの名前がつけられており、UIAメンバーセクションにより推薦された候補者の中から各賞の受賞者が決められます。また、ゴールドメダルにおいては、人や社会に対しての作品や活動による貢献度が高い建築家や、建築家グループをたたえるために1984年にUIA理事会によって創設されました。

■UIA ゴールドメダル

ノーベル賞と同等の価値の名声を授与することを目的として1984年に創設された賞。その活動を通して人や社会に利益を与え、貢献していると認められた建築家にUIAから贈られる最高の名誉ある賞です。各UIAメンバーセクションから一人ずつ候補者を推薦し、その中からゴールドメダリストが選ばれます。過去、日本では1993年に榎文彦氏が、2005年に安藤忠雄氏が受賞しています。

＜2011年度受賞者： アルヴァロ・シザ氏 (建築家／ポルトガル)、
推薦者：RIBA＞

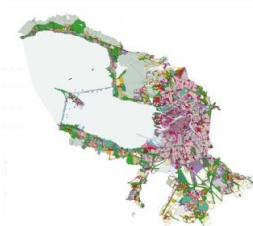


©uia

講評： アルヴァロ・シザの作品はどんなカテゴリーにも属さない。彼の作品と認識はできるが、それぞれの建物は異なっている。彼の建物を同じように複製することはできないが常に若い建築家の模範になるといえよう。彼の活動は流行に左右されることなく、1975年以降の「建築家」として職責に立ち向かう不断の挑戦をしながら21世紀へ続いている。

■パトリック・アパークロンビー賞： 都市計画と地域開発

＜2011年度受賞者： ヴァレンティン・ナザロフ氏 (建築家／ロシア)、
推薦者： UAR＞



©uia

講評： ヴァレンティン・ナザロフは、1958年から Санкт-Петербурクの都市計画に永続的に参画し、最近では2005年のマスタープランの計画に参画した。この計画は大都市の持続可能な開発と独自の歴史遺産の保全を提案している。

彼はこの国の政治的社会的開発を通じて、地域計画に高さ制限を設けることにより歴史的・文化的伝統を保全する為不断の努力を続けてきた。 Санкт-Петербурグの姿の特筆すべき要素の一つはそのシルエットである。

■オーギュスト・ペレ賞： 建築技術の応用



©uia

＜2011年度受賞者： 坂茂氏 (建築家／日本)、推薦者： JIA＞

講評： 坂茂は、建築技術の可能性を駆使し、裕福層のためだけでなく、災害救援のために紙管と膜を使った避難所の創造的探究をしていることで国際的な敬意を得ている。そしてその創造を機能や美観を妥協することなく行っている。

■ジャン・チュミ賞： 建築批評および建築教育



©uia

＜2011年度受賞者： ケネス・フランプトン氏（建築史家／英国）、
推薦者： AIA・UAR＞

講評： ケネス・フランプトンは、優れた教師として45年以上にわたり建築教育に貢献してきた。著名な建築史家・批評家として、現代建築の批評史に関する多数の主要な書籍の著者である。また彼は多くの世代の建築家に影響を与えると同時に、その作家としての作品は建築家のみならず広く興味をあつめるものである。

■ジャン・チュミ賞： 建築批評および建築教育



©uia

＜2011年度受賞者： ルイス・ノエラ・グラス氏
（建築史家／メキシコ）、推薦者： FCARM＞

講評： ルイス・ノエル・グラスのキャリアは建築教育と建築史の批評の両方にささげられてきた。35年以上著名な教師として、彼女は20世紀のラテンアメリカ建築の深究に貢献し続けており、歴史家・批評家として、彼女は多くの関連した組織の代表として、20世紀建築を活動的に促進してきている。

■ヴァシリス・スグータス賞

この賞は元会長のヴァシリス・スグータス氏の発案により、貧困により恵まれない生活状況下にある人々の環境改善のために重要な影響を与え、貢献した活動や行動に贈られる賞として、2008年に創設されました。二つの賞があり一つは個人の建築家に、もう一つは団体に贈られます。



©uia

＜2011年受賞者(個人部門)： ファブリツィオ・カローラ氏（建築家／イタリア）、推薦者： UIAイタリアセクション＞

講評： 各地域の文化を重んじつつ、土着の建築材料とそれに合わせた構造方式を用い、多くのアフリカの国々で献身的に生活状況の改善に努めている彼の活動に対し、この賞が贈られる。

■ヴァシリス・スグータス賞



©uia

＜2011年受賞者(団体部門)： エスパシオ・マキシモ コスト・ミニモ(代表カルロス・ゴンザレス・ロボ氏)、推薦者： FCARM＞

講評： ラテンアメリカやモーリタニアの貧困エリアでのローコスト住居づくりにおいて、材料の研究実験と、作業の訓練の双方を行うことにより確実に技術移転をしている彼らの活動に対し、この賞が贈られる。

(2011年4月18日発行UIA Communiquéより)